

○3月分要約

- ・事実上、吸収合併で、津市の周りの市町村は絶対良くなる。津市においても、職員数、議員減、支所廃止など、悪いことが多い。(津市)
- ・債務超過がより進み子孫に借金だらけの市町村を残すよりも、バランスのとれた健全な自治体を残すべきである。議員人数、職員の削減など無駄を徹底検証して効果的な自治体運営にまい進して下さい。(美里村)
- ・市町村合併の前に住民意識調査をしてほしい。投票するとか、何らかの形で合併の意識を盛り上げることが、最重要課題と思う。(津市)
- ・合併の核となる津市民の意識向上のため、関心を持ってもらうためにも、新市の合併条件の貴重な参考資料として、津市民の住民意識調査を実施され後世に悔いの無い合併を望みます。(津市)
- ・土地開発公社は、普通地方公共団体が協議により構成し、国又は都道府県知事の許可を得て設定される特別地方公共団体ではない、法的には財団法人で地方自治法に根拠しない。法定合併協議会の原点に逆り、市町村合併の意義に目覚めてほしい。(久居市)
- ・市町村合併の究極の目的は、歳出をおさえていかに住民にいろいろな面でのサービス提供を向上できるかであると思う。役所は、住民のためのサービス業という精神であって欲しい。(久居市)
- ・新市誕生にあたり、課題として同和という名称を無くす撲滅運動を計ることを提案したい。(津市)
- ・どうして合併が決まっていたか詳しい説明もないし、何故そんなに市を大きく広げるのだろうと思う。(津市)
- ・組長制度の廃止は大賛成です。地域連合会になって一般住民には役場の仕事はさせないで下さい。現在、地区費等を組長が集めているが、窓口業務として効率の良い方法にして下さい。(美杉村)
- ・職員数は出ているが、年齢別性別役職別の統計を公表して下さい。特別職については、166名が任期いっぱいというのはおかしい。全員辞職して新しい定数で選挙をするのが筋だと思う。(津市)
- ・合併と同時に市長・市議員の選挙を実施すること。議員人数を法定の38人にする。(河芸町)
- ・議員定数は、40人を少し越える位が適当と思う。職員数もシビアに見直すべきである。
- ・議会議員は、市長選挙と同時に市会議員の選挙も実施されるべきと思う。経費削減にもなる。(一志町)
- ・合併により広報の部数も多くなると思う。現在の広報の紙質が厚いと思う。県政だよりと同じ紙質にしたらコストも下がり保管も管理しやすくなると思う。(津市)
- ・どういう目的で合併するのか疑問です。サービスも向上するならいいけど、町村の中学校給食や、自校方式の小学校給食の廃止も聞いていますが反対です。(津市)
- ・市町村合併について最初からありきで進んでおり、住民の意思が反映されていないと感じる。議会の議員についても定数特例、在任特例は不必要で、新市スタートするなら、スタートした時点で新しい議員を選出するべきであると考えている。(安濃町)
- ・テレビで放映している、お宝鑑定団というものを是非合併する前に津でしてほしい。(美里村)
- ・新津市の将来に市民が希望が持て、誇りに思うようになるよう頑張ってください。(津市)

・平成16年3月現在の津という街が好きなのだが、そんな私が自立論者なのである。どうかしているのは私なのか世間なのか。(美杉村)

・本来合併とは市町村の自主的な行動により、地域の合意のもとに行われるべきなのに、今回の合併は政府方針による合併特例債という甘い蜜を為に意味のない合併がなされようとしている。(津市)

・芸濃町は都市計画税はないのですが、合併したらどうなるのか知りたい。(芸濃町)

・障害のある乳幼児の療育施設について、現在、津市とその近隣市町村においては、津市療育センターだけです。市町村合併を機に、知的障害者通園施設の設置を要望します。(津市)

・津市民として何のメリットがあるのか、大きくなればなるほど一般市民の生活は苦しくなり、社会福祉行政は切り詰められることは明白である。(津市)

・各市町村で住民投票など行って、賛否を問うべきと思う。合併と決まった以上、具体的にどこがどうかわるのか、分かりやすく説明してほしい。(河芸町)

・各市町村の議員の数は合併と同時に大幅(必要定数)に減らすべきである。合併と同時に選挙で選ぶべきである。(美杉村)

・議員の定数、任期については、合併市町村の利害が絡むものと思われるが、大局的立場に立って、早急に協議検討されるべきである。安易な在任特例適用には反対する。(津市)

・奥山権現参道の実現をお願いします。(美里村)

・市章、市民歌、市民憲章などについて、旧津市のままの形で定めても、新たに定めるの範囲だと考える。(津市)

・合併、賛成。大同小異の改革案でなければ、調整できないのが市町村合併だと思う。(津市)

・ごみ焼却問題を合併協定で決定する前に、住民に説明をし、同意を得るべきである。(津市)

・ごみ処理施設について、合併協議での協定決議前に、近隣町村への納得の行く説明は不可欠であるし、協定項目の中にも、うたって頂きたい。(津市)

・津市合併は、スケールが大きすぎ、町村の隅々まで行政や管理が行き届かないので、10市町村合併は何のメリットもないので好まない。(白山町)

・新聞記事に、合併に関しての自治会長への報償が載っていましたが、私の自治会では、住民から会費を取り上げ役員費をあげているがどうしたものでしょう。(津市)

・地元住民の反対で延長できなかった道路を、合併したからという安易な論理づけで、説明会も無く民意不在のままに強引に押し進められてしまうことのない様、協議会の中で話し合ってください。(津市)

・市町村合併に伴い、有害図書を公共の機関におかないように規定して下さい。(久居市)

・新市建設計画(15年3月)の整備計画の中で、風早地の水の処理について、大幅な整備計画の見直しと先ずは、現在の排水対策が必要です。(久居市)

・合併前に職員の教育を先にして下さい。

・中学校でも給食を実施してほしい。センター方式でなく自校式で。保育園で延長保育を。二次、三次救急ができる市民病院の設置。津市西部からR23や市中心部への交通渋滞の解消。市立小・中学校へ現役警官や警官OBの配備、または巡回強化、又は警備員の配備。小学校全学級35人以下に。保育料を高い町に合わせるの反対。議員数を減らして欲しい。下水道を無理に引かず浄化槽を認めて欲しい。(津市)

・都市計画税は、例外なく課税すべきである。議員の為の特例は必要ではない。負担は少しでも少なく、サービスは多いほど良いと思うが、なぜ合併をしなければならないかえ考えれば、負担が増える事や現在のサービスが新市になれば低下することも受け入れるべきだ。(久居市)

・障害を持つ人がその障害の重さに関係なく、地域で暮らせるよう受け皿の充実を強く求めます。各施設がどんな障害のある人も受け入れられるように、門戸を広くすることを希望するとともに、市や県、国からの助成金を増やし職員数などが整うようにすべきです。(久居市)

・市町村合併につきまして、議会議員は選挙にして下さい。(津市)

・新市の議員定数について、三位一体の改革、平成の大合併による合併の主旨からも「新市の議員定数は38人」であるべきです。(津市)

・市町村合併に伴ない、今後の新庁舎の改善、発展の為には新しい市町村の窓口には各部門に一般から経験豊かで斬新な考え方を持つ有能な人材を広く募り、採用して井の中の蛙的になっている役員の考え方を刺激し、改善、改革を推し進めることが必要だと思う。(津市)